



## 目次

各部会からの活動報告とお知らせ

- 第1部会(花いっぱい活動)..... 1
- 第3部会(サインデザイン活動).... 3
- 總持寺周辺地区シンボルマーク・ロゴ  
デザインコンペ募集要項..... 3
- 第2部会(公共事業対応活動)..... 7
- 特集：先進地視察研修報告..... 8

発行：總持寺周辺地区まちづくり協議会  
(編集長：第4部会 川尻義雄)

秋も深まり 行楽に読書、芸術や食欲など忙しくなりましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。

總持寺周辺地区では、表参道の整備やいくつかの住宅やお店で外観の整備が行われ、町が少しずつ変わり始めたことが実感できるようになりました。私たちまちづくり協議会も、大忙しで活動しています。今回の新聞は、協議会各部会の活動についてお届けします。

## 第1部会(花いっぱい活動担当)

# 盛り上がる花いっぱい活動！



今年で3年目を迎えた「花いっぱい活動」は、地区の住民のみなさんの積極的な参加もあり、ますます活発になっています。今年も花づくりをめぐって、お隣・ご近所同士で話しがはずんだようですね。

## 可憐な“秋の花”の寄せ植えに挑戦！

10月10日(月)の体育の日午後2時から、櫛比小グランドにおいて30名余りの皆さんが参加し、花の講習会が開催されました。

財団法人いしかわ緑のまち基金から派遣された宮田真由美さん(フラワーアレンジメント資格)の指導で、土づくりから、植え付け、水のやり方などの一通りを教わりました。基金とまちづくり協議会から無料で配布された花の苗(ガーデンシクラメン、パンジー、リンドウなど)をプランターに寄せ植えし、皆さんとっても楽しく、有意義な午後の一時を過ごしました。

## 来年も開催します！

協議会では、大変好評だったこの講習会を来年度も開催する予定です。今年参加できなかった皆さんは、ぜひ来年参加して下さい。お楽しみに！！！！

疑問解決！  
花の講習会開催



講師の宮田真由美さん



すてきな花とプランターが、**無料**でもらえました！

# 最優秀の栄冠は清水区に！

## 花のコンクール

さる10月6日(木)に恒例となった花のコンクールの審査が行われました。稲垣まちづくり協議会会長、林第1部会長をはじめ4名の審査員が、地区全域を回り、手入れの良さや色合い、工夫の度合いといった観点から審査を行い、各審査員の持ち点50点からそれぞれ点数を付け、その日の内に集計を行いました。

その結果、最優秀の栄誉は清水区に輝きました。清水区の花壇は国道側の地区の入り口に設けられ、色合い、量、植え方のバランス、手入れなど全ての点で審査員をうならせることができ、全員一致で最優秀を獲得しました。優秀賞は2名の方と1企業が、敢闘賞は10名の方がそれぞれその栄誉に輝きました。



最優秀賞“清水区”の作品



優秀賞の左から“川尻繁さん”、“北国銀行”さん、“早瀬裕史”さんの作品



なお、表彰式は10月10日の「花のコンクール」に先立ち行われ、稲垣まちづくり協議会会長から受賞者の皆さんそれぞれに賞状と賞品が贈られ、その栄誉をたたえました。

今回、残念ながら選に漏れた皆さんも、来年はぜひ入賞、さらには最優秀を獲得されるよう、花づくりに励んでいただきたいと思います。

## 花のコンクール結果発表

最優秀賞 清水区

優秀賞 川尻繁・北国銀行・早瀬裕史

敢闘賞 岡田邦男・山崎義昭・茶野木勝儀・柏木隆秀・小川選太郎  
宮下美智子・能村武文・河端富造・下口昌彦・中橋きみ子

(最優秀賞以外は順不同・敬称略)

第3部会（サイン・デザイン統一、商業活性化活動担当）

# シンボルマーク・ロゴ デザインコンペを開催します！

皆さんふるって**ご参加下さい！！**

第3部会では、總持寺周辺地区の地区の街並みや商店、商品や物産に統一感や一体感を産み出し、対外的なアピール効果を上げ、また、地区に住む皆さんのまちづくりへの参加意識や帰属意識を高め、活動の活性化を図るため、地区のシンボルマーク(\*1)やロゴ(\*2)を決めることになりました。

\*1 シンボルマークとは、企業イメージなどを象徴するようにデザインしたマークのことです。

\*2 ロゴとはロゴタイプのこと、社名や店名など文字の形態をデザインしたものです。

デザインにあたり、地区の皆さんを始め、県内外の皆さんのさまざまなアイデアを活かし、よりよいデザインとするため、デザインコンペを開催することにしました。

**賞金** 1等副賞 10万円 + ビューサンセットペア 1泊宿泊券 1名  
2等副賞 1万円 5名  
**締切** 12月28日(水) 当日消印有効

詳細は**募集要項**と**協議会ホームページ**をご覧ください！

コンペの詳細は次の募集要項をご覧ください。また、まちづくり協議会のホームページでは“**応募用紙**”や“**参考資料**”がダウンロードできます。こちらもご覧ください。

<http://www.phisnet.ne.jp/monzen/>  
(「**總持寺周辺地区**」で検索できます。)

僕はマスコットとして、これからもかわいがってね。  
いい作品期待してます！



## 總持寺周辺地区シンボルマーク・ロゴ デザインコンペ募集要項

1. シンボルマーク・ロゴの制作目的
  - ・新たに統一されたシンボルマーク・ロゴを制作することにより、地区の街並みや商店、商品や物産に統一感や一体感を産み出し、対外的なアピール効果を上げる。
  - ・当地区のシンボルマークとロゴを制作し、活用することにより、總持寺周辺地区まちづくり協議会メンバーだけでなく地域の者すべてがまちづくりに参加しているという参加意識や帰属意識を高め、まちづくり活動の活性化を図る。
2. シンボルマーク・ロゴの制作基準
  - シンボルマーク・ロゴは、以下の基準に沿ったものとなるよう制作して下さい。

## イメージ上の制作基準

精神性 / 禅宗の祖院である總持寺の持つ深い精神性が伝わること。

歴史性 / 總持寺を中心として発展してきた歴史ある地区であることが伝わること。

## 機能上の制作基準

意味性 / 内容がわかりやすく、總持寺周辺地区らしさを感じ取れること。

伝達性 / 覚えやすく、イメージを的確に伝達できること。

## 3. デザインの条件

シンボルマークとロゴをデザインして下さい。デザインは図形、文字、図形と文字の組み合わせなど、その形態の在り方は問いません。また、抽象、具象いずれでも構いません。なお、参考として、門前町、總持寺周辺地区のまちづくり事業の内容を總持寺周辺地区まちづくり協議会のホームページに用意していますので、参考として下さい。  
<http://www.phisnet.ne.jp/monzen/>

## 4. 応募

応募作品は、別紙応募用紙に塗布されたもの、およびデータファイル形式（JPEG または pdf ファイルを FD、MO、CD などに記録したもの）で提出して下さい。

## 5. 賞と賞金（賞金には源泉所得税を含みます。）

- 1等（1点） 副賞 10万円 副賞：ビューサンセットペア 1泊宿泊券  
2等（5点） 副賞各 1万円

## 6. 審査員

審査員長：岡田邦男（總持寺周辺地区まちづくり協議会第3部会長）

審査員：坂本英之（金沢美術工芸大学環境デザイン学科教授）

高島仙龍（總持寺祖院）

石部文雄（門前町企画振興課長）

五十嵐義憲（總持寺通り組合組合長）

稲垣健英（總持寺周辺地区まちづくり協議会会長）（敬称略・順不同）

## 7. 応募資格 企業団体あるいは個人やグループ。年齢、性別、職業、国籍は問いません。 なお、作品は国内外未発表のものに限ります。

## 8. 応募点数制限 お1人3点まで

## 9. 応募締切 2005年12月28日（水）消印有効

## 10. 審査結果の発表 2006年1月中旬頃、

公式発表後、下記サイトに受賞結果を掲載します。

<http://www.phisnet.ne.jp/monzen/>

11. 主催 總持寺周辺地区まちづくり協議会

12. 応募先・問い合わせ先 總持寺周辺地区まちづくり協議会事務局

〒927-2151 石川県鳳珠郡門前町字門前 1994 TEL : 0768-42-0077

Mail : mon77@orange.plala.or.jp URL : <http://www.phisnet.ne.jp/monzen/>

13. 応募条件および応募に関する諸注意

- ・応募作品は總持寺周辺地区のために独自にデザインした、国内外で自作未発表の応募者自身のオリジナルなものに限ります。
- ・公序良俗その他法令の定め反するもの、誹謗中傷を含むもの、著作権その他第三者の権利を侵害しているものは、審査の対象外となります。また入賞後であっても、これらの条件に違反していたことが判明した場合、入賞は無効となります。
- ・他のコンペティションに既に応募したものでないこと。また總持寺周辺地区まちづくり協議会の同意なしに他に公表しないものとします。
- ・当コンペティションの広報やPRのため、応募作品が公表されることがあります。
- ・応募作品は返却しません。
- ・募集要項に記載された事項以外について取り決める必要が生じた場合、主催者の判断により決定します。
- ・応募者は応募後、応募を撤回できますが、応募にかかった一切の費用は返却いたしません。
- ・作品送付に関わる費用は応募者の負担とします。また、表彰式出席のための交通費、宿泊費等は受賞者の負担となります。
- ・主催者は作品受領後、応募作品の管理に万全の注意を払いますが、天災その他の不慮の事故・破損・紛失について一切の責任を負いません。
- ・主催者は作品の不達、到達時点までの破損、電子データの破損などの責は一切負いません。また、お送りいただいた電子データについてのお問い合わせには応じられませんので十分ご注意ください。
- ・審査において、また商品化に際しての諸権利の申請において、応募者へ応募作品についての問い合わせをすることがあります。

14. 応募作品に関する権利

- ・入賞した応募作品の意匠、商標、著作権に関する全ての権利は總持寺周辺地区まちづくり協議会に帰属します。
- ・作品の媒体、部品等へのデザイン展開や商品化に関する権利は、全て主催者である總持寺周辺地区まちづくり協議会が有します。
- ・応募にあたっては、既発表のデザインと同一または酷似している場合、または第三者の知的財産の侵害となる場合（応募後に侵害となった場合を含む）は、受賞結果発表後であっても受賞を取り消すことがあります。

# 応募用紙

作品説明（別紙可）

作品（15センチ×15センチ以内で、作品を塗布して下さい）

氏名(フリガナ)	年齢 ( )	性別 ( )	職業
住所 〒	電話番号またはE-Mail		

## 第2部会（公共事業対応活動担当）

# 表参道整備事業（高校側）が完成！

昨年度から事業が進められていた總持寺表参道の高校側は、土塀や歩道、せせらぎの水路、小公園、三松閣前の舗装などの整備事業が完成しました。

— 昨年のもちづくりワークショップでの提案や、その後の第2部会での検討などを経て、住民の皆さんの意見が十分反映された形で完成しました。



## （仮称） 總持寺プラザ

いよいよ着工します！

もんぜんや周辺で計画されている「（仮称）總持寺プラザ」は、現在既存建物の解体が進み、今年度中に着工する運びとなっています。

この施設は、地域の歴史や文化を紹介する郷土資料館の機能と、地域内外の人々の体験、交流機能を兼ね備え、飲食や物品販売の施設である「もんぜんや」と合わせた総合的な複合施設として、地域の活性化に役立つものとして期待されます。

第2部会としても、以前からその内容を検討してきましたが、今後、実施設計の進み具合に合わせて、より一層、住民の皆さんや町内外の人達にとって使いやすく、また、まちづくりに役立つよう、提案や意見を積極的に出していきたいと考えています。



完成予想図

# まちづくり先進地視察報告 寺社と蔵の活用

さる 10 月 22 日～23 日の 2 日間、協議会メンバー 19 人は、まちづくりの参考とするため高岡市や金沢市の 4 地区を視察しました。以下にその概要を報告します。

## 高岡市

八丁道・山町筋・金屋町

瑞龍寺門前の八丁道と山町筋や金屋町の街並みを視察。案内ボランティア「あいの風」代表中井明子さんから賑わいが戻らない八丁道の課題や高岡全体のまちづくりの特徴と問題点をうかがいました。

(10 月 22 日午前)



道路の拡幅事業や商店街近代化事業がほぼ完成した城端町を訪問。案内の商工会副会長でまちづくりの中心となって活躍された長谷川さんから、事業のポイントや苦労話を伺いました。合併前の城端町の事業にかける意気込みや、商店街の有志の皆さんの努力、さらには、町案内や施設運営のさまざまなボランティアの存在など、總持寺周辺地区でも参考になる話題が盛りだくさんでした。

(10 月 22 日午後)

## 南砺市城端

城端別院禅徳寺門前町



## 金沢市大野

醤油もろみ蔵の活用



全国 5 大醤油産地の金沢大野では、民間主導で蔵を再生したまちづくりが行われています。最初の再生例の「もろみ蔵」のご主人紺田さんから、その経緯を伺いました。若者特に美術系の学生とのコラボレーションやマスコミの利用は、立地条件が悪い門前ではなかなか困難かとも思いますが、今後は、このような面も意識する必要があると感じました。

(10 月 23 日午前)



東山寺院群とかつての「くるわ」の町東山は、県内最初の「重要伝統的建造物群保存地区」や、市独自の「こまちなみ地区」に指定されています。協議会のメンバーでもある武藤清秀さんから、地区内の再生された町屋や蔵の説明を聞き、その後、建設が予定されている「(仮)總持寺プラザ」の参考とするため、徳田秋声記念館を視察しました。分かりやすくビジュアルな展示が大変参考になりました。

(10 月 23 日午後)

## 金沢市東山

東山寺院群とくるわ町